

霞学区まちづくり推進委員会

委員長 枝廣 稔

（問合せ先） 084-921-6179 （霞公民館）

事業内容

* コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (1) 青少年育成事業 (8月～3月)
- (2) 環境美化活動事業 (芦田川を守る日一斉清掃 6月6日 *)
(秋の一斉清掃 10月24日)
(ばらの接木講習 1月 *)
(ばら花壇の手入れ 通年) (幼稚園の清掃 3月～11月)
- (3) 霞学区盆踊り大会 (盆踊り大会 8月7日 *)
- (4) 霞学区善行表彰事業 (11月7日)
- (5) 霞学区ふれあい文化祭 (11月7日)
- (6) 霞学区ふれあいとんど (1月9日 *)
- (7) まちづくり研修事業 (広島市西消防署とおりづるタワー 12月9日)
- (8) 健康推進事業 (健康ウォーキング大会 11月23日)
(学区民スポーツまつり 3月6日 *)
- (9) 安心・安全のまちづくり事業 (福山市総合防災訓練 11月28日 各町対応)
(ひとり歩き高齢者声掛け **研修** 11月19日 **訓練** 12月4日)
- (10) 広報紙発行事業 (年1回)
- (11) コミュニティ育成事業 (ごみの分別啓発・納税推進活動 通年)
- (12) 衛生推進活動事業 (衛生活動・環境整備 通年)
- (13) 霞学区合同防災訓練 (2月27日 *)
- (14) まちづくり推進委員会運営事業 (通年)

成果

◎昨年度に続きコロナ禍でやむなく中止した事業もあったが、地域のつながりや活力を持ち続けるためにも、できる限り対策を講じて行事を実施したことは次につながるものがあった

課題

- ◎コロナ禍で集う場・対話の場の減少は住民同士のつながりを希薄にし、各種団体への加入や次世代を担う人材の発掘と育成が難しくなっている
- ◎短い期間で役員交代が行われ引き継ぎが十分でないため、行事への細かな説明と準備が必要である
- ◎役員を降りた後も引き続き学区の取組みや活動に参加してもらいたい

課題解決にむけて

- ◎行事の実施は“地域のふれあいの場”を作ることであり、対策を講じて実施できるよう内容を考慮する
- ◎各種関係団体と連携を図り、地域のニーズを汲み取り幅広い世代の活動と人材の育成に取り組む
- ◎まちづくり計画を再考し、地域の課題や特性に根差した事業を実施するよう工夫していく

2年ぶり～♪

か がやく未来へ

す みよいまちを

み んなでつくろう

12月9日

霞学区 まちづくり研修事業

「広島市西消防署とおりづるタワー」に

広島市西消防署

行ってきました！！

福山に災害が起きたら…
うちの準備は…？

最初に訪れたのは、“広島市西消防署”

2018年7月に発生した「西日本豪雨」で、多くの人命救助に活躍した消防署です。

被災地の映像や隊員の話など、当時の懸命な救助活動の様子を自分のこととして学習しました。

この見聞きしたことを、災害時の心構えや学区で行われる自主防災活動に活かす大変有意義な研修となりました。



講義の様子



見学者用の消防道具や模型



消防車を見学

おりづるタワー

次に訪れたのは、世界遺産『原爆ドーム』の隣にある”おりづるタワー”

「原爆の悲惨さだけではなく、復興や希望、未来など“広島の豊かさ”を感じられる場所を作りたい」というコンセプトを基に造られました。

【おりづる広場】には、折ったつるを投入して平和への想いと祈りを積み重ねた”おりづるの壁”があります。私たちが日々安心して暮らせること＝「安心こそ最高の人権」という霞のキーワードを、改めて地域に活かせる研修となりました。

みんなで
平和を願って
折りました



屋上からは原爆ドームが
一望できます



屋上に“こたつ”発見！！
憩いの場
なんですねえ(^▽^)